

Cisco Prime Network Registrar 9.0 互換性考慮事項を用いる Cisco プライム記号 IPAM 8.3

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[CPNR 9.0 の IPAM 8.3 -セットアップ](#)

[CPNR 8.3 および 9.0 の新しい 機能](#)

[IPAM 8.3 の新しい 機能](#)

[要約](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco Prime Network Registrar (CPNR) IPアドレス管理 (CPNR 9.0 との IPAM) の互換性を 8.3 記述したものです。それは IPAM 8.3 が可能にするために CPNR 9.0 を使用することを IPAM 管理/リモート エージェントをインストールするとき行う必要がある変更を説明します。

この資料はまた IPAM 8.3 と使用することができる CPNR 8.3 および 9.0 機能を識別したものです。

はじめに

要件

CPNR 9.0 32ビット Software Development Kit (SDK) パッケージが管理/リモート エージェント IPAM 8.3 の「cnrsdk」フォルダを取り替えるのに使用する必要があります。

CPNR 9.0 の IPAM 8.3 -セットアップ

IPAM 8.3 を CPNR 9.0 を使用させます IPAM エグゼクティブ/リモート エージェントの「cnrsdk」フォルダ (<INC-HOME>/cnrsdk) は 32ビット CPNR 9.0 SDK パッケージのコンテンツと取り替えられなければなりません。IPAM 8.1.2 およびそれ以降では、CPNR サーバを管理する IPAM Cisco Unified Mobile Agent の使用は必須です。それは IPAM 8.3 リモート エージェントだけの CPNR 9.0 SDK と「cnrsdk」フォルダを取り替えることを足ります。

IPAM Cisco Unified Mobile Agent の「cnrsdk」フォルダを取り替えるためにこれらのステップを完了して下さい:

1. IPAM 8.3 リモート エージェントを停止して下さい。Linux に関しては: <INC-HOME>/etc/incontrol 停止Windows の場合: IPAM サービスを停止するために Windows サービス コントローラを使用して下さい。デフォルトで <INC-HOME> ディレクトリのための

:**Windows** : C:\Program Files\Cisco\Cisco Prime Network Registrar IPAMLinux の場合
/opt/incontrol

2. 「<INC-HOME>/cnrsdk」フォルダへのナビゲートか IPAM リモート エージェントのサブディレクトリ。
3. 「cnrsdk」フォルダまたはサブディレクトリのすべてのファイル/フォルダを、ないフォルダ自体を取除いて下さい。
4. 「<INC-HOME>/cnrsdk」フォルダに CPNR 9.0 32ビット SDK パッケージをコピーして下さい。
5. CPNR 9.0 SDK パッケージを得て下さい。
6. 「<INC-HOME>/cnrsdk/classes」フォルダから 「<INC-HOME>/classes」ディレクトリに cnrsdk.jar をコピーして下さい。
`cp <INC-HOME>/cnrsdk/classes/cnrsdk.jar <INC-HOME>/classes`
7. リモート エージェントの IPAM サービスを開始して下さい。Linux に関しては: <INC-HOME>/etc/incontrol 開始する (IPAM エージェントを開始するために 「incadmin」 ユーザとしてログオンする必要があります)。Windows の場合 : IPAM サービスを開始するために Windows サービス コントローラを使用して下さい。

注: IPAM 8.3 では、CPNR 9.0 DHCP/DNS/CDNS サーバの DNS (DNS/CDNS) サーバをキャッシュするを DHCP か Domain Name Server/作成するとき選択される製品名は 「それぞれ DNS 8.3' をキャッシュする CNR DHCP 8.3' および 「CNR 保証された DNS 8.3/CNR であるはずで

CPNR 8.3 および 9.0 の新しい 機能

これらの新しい 機能は CPNR 8.3 と導入されます:

- クライアント ベース DNS64 プレフィックス
- 国際化ドメイン名
- 同じ OS (DNS ハイブリッド) の CDNS および ADNS
- DNS 応答ポリシー ゾーン (RPZ)
- 秘密鍵 トランザクション (GSS-TSIG) のための一般的な セキュリティ サービス アルゴリズムを使用する保護されたダイナミック DNS およびゾーン転送
- 描写的な状態転送 (他) API サポート
- リソース制限アラーム
- スーパーユーザ特権のないプロトコル サーバのインストール
- Active Directory (AD) の外部認証
- あなた自身のデバイス (BYOD) サポートを持って来て下さい

これらの新しい 機能は CPNR 9.0 で導入されました:

- エンドツーエンド IPv6 サポート
- Windows サーバ 2012 サポート
- DNS プッシュ通知
- RR のための重み付けラウンド ロビン
- 複数の DHCPv6 オプション 例

IPAM 8.3 の新しい 機能

IPAM 8.3 は他のいろいろな機能拡張から離れて CPNR 8.3 のこれらの機能をサポートします:

- クライアント ベース DNS64 プレフィックス
- DNS 意見 (8.2 機能)
- 国際化ドメイン名

要約

IPAM 8.3 のすべてのサポートされる機能は CPNR 9.0 と IPAM 8.3 Cisco Unified Mobile Agent の「cnrsdk」フォルダかサブディレクトリが以前に記述されているようにアップデートされる場合正しく動作します。

CPNR 8.3 および CPNR 9.0 のこれらの新しい 機能は IPAM 8.3 によって管理される CPNR 9.0 インストールで使用することができます。これらの新しい 機能のための設定は CPNR 9.0 でされ、使用することができます:

- DNS 応答ポリシー ゾーン (RPZ)
- 他 API サポート 注: DHCP/DNS コンフィギュレーション タスクが押された IPAM 8.3 から CPNR から 9.0 である場合他 API 呼び出しによって CPNR で作成されたオブジェクト/修正されて一掃されます。
- リソース制限アラーム
- スーパーユーザ特権のないプロトコル サーバのインストール
- AD の外部認証
- エンドツーエンド IPv6 サポート
- Windows サーバ 2012 サポート
- DNS プッシュ通知
- RR のための重み付けラウンド ロビン

CPNR 8.3 および 9.0 のこれらの機能は IPAM 8.3 と CPNR 9.0 サーバを管理することを使用する場合使用することができません:

- GSS-TSIG を使用する保護されたダイナミック DNS およびゾーン転送
- 同じ OS (DNS ハイブリッド) の CDNS および ADNS 注: IPAM は同じ IP アドレスの CDNS および ADNS 両方サーバの設定をサポートしません。
- BYOD サポート 注: スコープ、ローカルで作成されたクライアント クラスおよびクライアントのようなオブジェクトは DHCPコンフィギュレーションが IPAM から CPNR への押される場合取除かれます。

関連情報

- [Cisco Prime Network Registrar シスコのドキュメント](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)